

第93回選抜高校野球大会出場決定

東播磨高等学校(初出場)

第93回選抜高校野球大会(3月19日から13日間、阪神甲子園球場)の出場32校を決める選考委員会が1月29日に史上初のオンラインで開かれ、21世紀枠として東播磨高校が選ばれました。念願の甲子園初出場となります。

東播磨高校は昨秋の兵庫県大会で、育英を破って初の県ベスト4、準決勝では長田にも勝利して決勝に進出し、近畿大会への出場を決めました。決勝の神戸国際大附、近畿大会一回戦の市和歌山には惜敗しましたが、その後、21世紀枠の兵庫県推薦校に、また近畿6府県の代表校にも選出していただき、今日に至りました。公式戦での戦いぶりもちろんですが、コロナ禍でもオンラインを活用するなど工夫を凝らした取り組みも評価していただき、さらには近年全国優勝を取めた放送部や演劇部の活躍をはじめ、文武不岐の精神で頑張っているひがはり全体が評価されての出場となりました。

甲子園でまず1勝を目指して、ひがはり一丸となって頑張りますので、ご声援をよろしくお願いいたします。



東播磨 打撃戦制し16強

東播磨の打撃戦が白熱した。にも関わらず、一歩も引かぬ相棒の1、2点差で、振り回しに、八回代打大は思わぬ形で勝った。五回、西原が満塁で打って勝点をまで高潮点しながら、六回、決め、捕手は「ずんわりと」



原主将 2安打5打点

はいかな。間もなく、勝てる様子がなく、チートは勝ちを逃がした。一、二回で無安打無得点で、八回、決め、捕手は「ずんわりと」

神戸新聞 2020.10.4



神戸新聞 2020.9.28

2020年(令和2年)9月28日 月曜日

東播磨 足技で圧倒

癖ミス見極め、抜け目なく



東播磨は午後3時半過ぎ、出場決定の知らせがあった。報道陣が集まる校内の会議室で、電話を受けた吉田博昭校長は「ありがとうございます」と話した。原主将は「ずんわりと」

初出場 SNSで一体感 東播磨



準備をしていく。指者の基礎を教わった。東播磨のSNSで一体感が広がった。SNSで一体感が広がった。SNSで一体感が広がった。



ランニングをする東播磨の選手たち

毎日新聞 | 2021.1.30

東播磨 接戦制す

秋の最高成績に並ぶ。東播磨の勝利の原動力は、三塁と二塁の守りだった。これ、市尼崎のリンアップを迎えたが、福村は「相手は下手に動いて、先制打を打たせてしまった。」

神戸新聞 2020.9.22

東播磨 気勢 待望の切符



エース大舞台で「校歌を」。東播磨は午後3時半過ぎ、出場決定の知らせがあった。報道陣が集まる校内の会議室で、電話を受けた吉田博昭校長は「ありがとうございます」と話した。

神戸新聞 2021.1.30

東播磨 育英下し初の4強 完封の鈴木「歴史つくれた」



東播磨一育英 4安打で完封した東播磨のエース鈴木三朗(右)と一塁手石一太郎(左)。(撮影:鈴木三朗)

神戸新聞 2020.9.27

【戦績 (公式戦)】

<播磨地区大会>

- 2回戦 小野 2-3 ●
- 敗者復活1回戦 明石 4-2 ○
- 敗復代表決定戦 西脇 11-1 ○

<兵庫県大会>

- 1回戦 加古川西 3-1 ○
- 2回戦 柏原 10-6 ○
- 3回戦 市尼崎 2-1 ○
- 準々決勝 育英 1-0 ○
- 準決勝 長田 7-0 ○
- 決勝 神戸国際附 0-2 ●

<近畿地区大会>

- 1回戦 市和歌山 1-2 ●

粘りのプレー 最後まで

スタンドから温かい拍手



神戸新聞 2020.10.4



イマドキな交流、評価され センバツ「21世紀枠」候補校に 東播磨

毎日新聞 | 2021.1.30